

国土交通省関東地方整備局

# 船橋防災センター



国土交通省 関東技術事務所

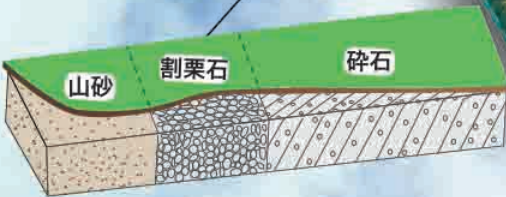
# 災害に 備えて!!

## 船橋防災センターの役割

- 災害発生時に復旧活動を行うための資機材を備蓄しています。
- 災害発生時に災害復旧活動の拠点となります。
- 防災に関する訓練、教育活動を実施します。
- 防災技術に関する研究・開発を行います。



■ テントハウス  
応急復旧に必要な資材を収納しています。



■ 地下備蓄施設  
砕石、割栗石、山砂を、地下に埋めて備蓄しています。

### 応急復旧用の主な備蓄資材 (船橋防災センター)

資材名	規格	単位	数量
根固めブロック	4 t	個	400
根固めブロック	2 t	個	700
割栗石		m <sup>3</sup>	1,600
土砂		m <sup>3</sup>	2,000
砕石		m <sup>3</sup>	5,500
H形鋼	350 × 350 × 12 × 19 × 12,000 mm	本	22
H形鋼	400 × 400 × 13 × 21 × 6,000 mm	本	42
覆工板	2,000 × 1,000 × 200 mm	枚	26
敷鉄板	1,524 × 6,096 × 22 mm	枚	96
敷鉄板	1,524 × 3,042 × 22 mm	枚	192
鋼矢板	SP-III 12m	枚	1,184
鋼矢板	SP-VL 22m	枚	150
鋼矢板現場溶接手	SP-III (SY295) 用	枚	100
土のう袋	62cm × 48cm	袋	11,500
土のう袋	1 tonパック	袋	3,600
オイルフェンス	フロード径 300 mm L=20m	セット	8



■ 根固めブロック  
河川等の堤防が決壊した時に応急復旧のために使用します。



■ 応急組立橋  
災害時に橋の流失や道路決壊によって交通が遮断されたとき、早急に交通路を確保するために使用します。

### 施設概要

敷地面積	31,000m <sup>2</sup>
構内道路	幅10m 全長526m
管理棟	鉄筋4階建480m <sup>2</sup> ×4F=1,920m <sup>2</sup> 高15.1m 幅32.0m 奥行15.0m
格納庫	鉄骨1階建720m <sup>2</sup> ×2棟 高6.75m 幅48.0m 奥行15.0m
無線局舎	鉄骨2階建 高10.3m 幅12.2m 奥行12.2m 自家発電機300KVA(72時間対応) 無線鉄塔 地上高65m
テントハウス	フレーム構造スライド式 8棟 高4.56m 幅8.0m 奥行23.0m
車両集結スペース	3,000m <sup>2</sup> 災害時の車両、物資の集結・中継場所 日常時の訓練場所
ヘリポート	災害時等のヘリコプターの緊急離着場所

# 災害時に活躍する 施設と機械

## 施設

災害が発生したとき、災害復旧に必要な情報を収集し、復旧支援の対策をします。



■ 執務室、TV会議システム、情報機器 (4階)  
災害時に必要な各種情報を収集・整理します。



■ 要員詰所・仮眠室 (3階)  
災害時に復旧作業を行う要員等が待機・休憩します。



■ 災害対策室 (4階)  
災害時の復旧支援方法等を検討します。

## 機械



■ 対策本部車  
災害現場で現地対策本部として使用する車両です。



■ 遠隔操縦式 分解組立型 バックホウ  
土砂崩れなどの二次災害発生の危険性がある現場で、安全に復旧作業を行う機械です。



■ 排水ポンプ車  
内水氾らんや洪水時に排水作業を行う車両です。



■ 照明車  
夜間の災害復旧作業を行えるようにする車両です。

主な災害対策用機械 (関東技術事務所保有)		R4.4現在
機械名	規格	台数
排水ポンプ車	排水能力60m <sup>3</sup> /分	4台
排水ポンプ車	排水能力30m <sup>3</sup> /分	2台
照明車	12KVA (LED式) ブーム式	7台
照明車	25KVA ブーム式	4台
照明車	20KVA 2柱ポール式	3台
対策本部車	拡幅型	3台
対策本部車	バス型	1台
待機支援車	6床式	2台
待機支援車	9床式	1台
作業車	クレーン装置付き (2.9t吊り)	2台
バックホウ	0.8m <sup>3</sup> 遠隔操縦式	1台
バックホウ	1.0m <sup>3</sup> 遠隔操縦式 分解組立型	1台
小型クレーン	クローラクレーン 分解組立型 (2.9t吊り)	2台
応急組立橋	組立式ワーレントラス橋 最大50m	1台
応急組立橋	組立式ワーレントラス橋 最大40m	1台

# 応急復旧 活動の支援

## 遠隔操縦式 分解組立型 バックホウ

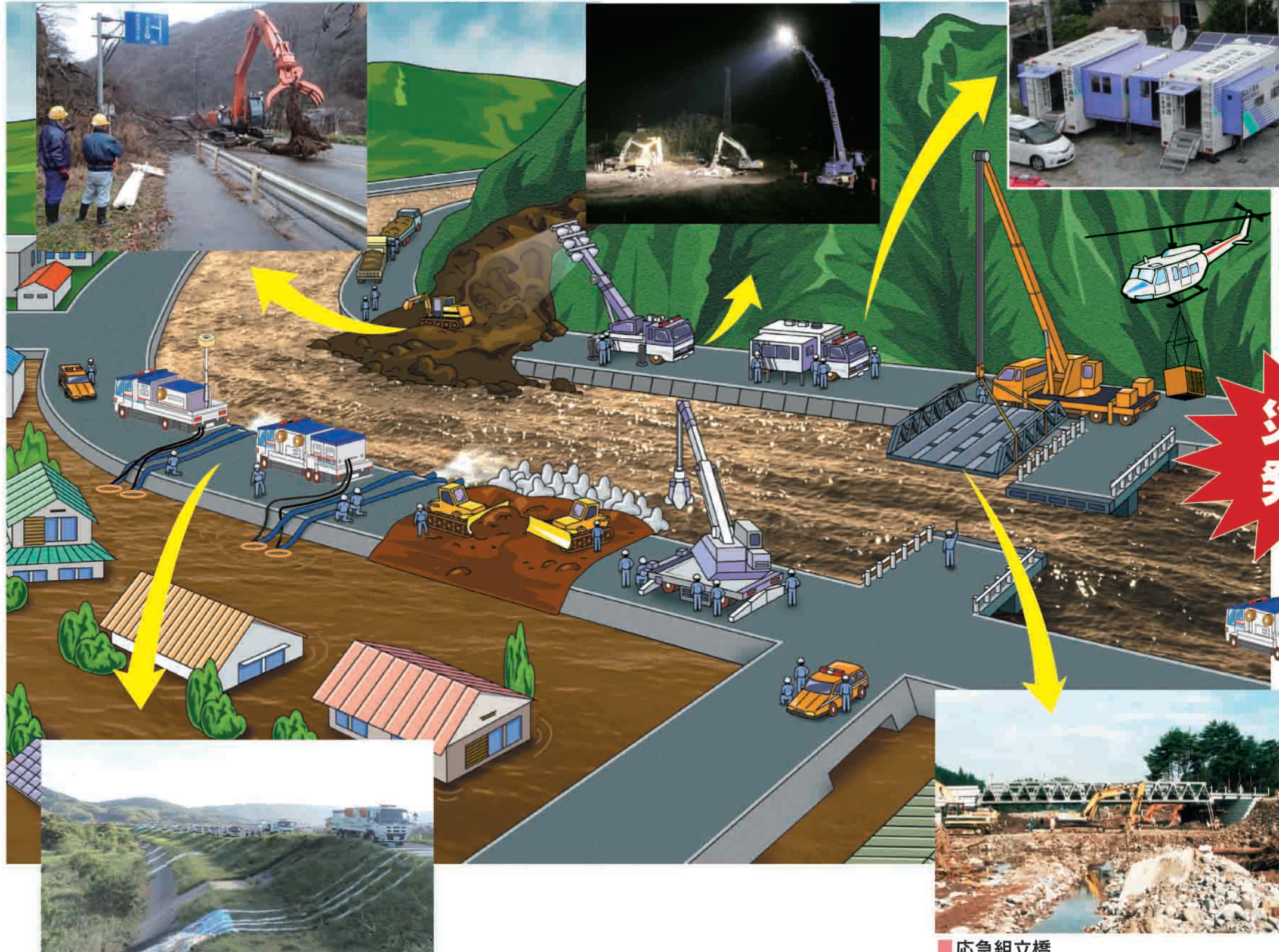
分解・組立が出来る構造なので、土砂崩れなどによって道路が寸断された山間部でも、分解したバックホウの部品をヘリコプターで空輸し、現地で組み立てて災害復旧作業が行えます。また遠隔操縦が可能なので、二次災害の危険性がある現場でも安全に作業が行えます。

## 照明車

夜間に災害復旧活動をする時に、作業現場を明るく照らします。

## 対策本部車

災害現場における復旧活動を円滑に進めるための会議を行ったり、対策本部との連絡を行うために使用します。効率的な打合せが行えるよう、テレビ会議にも対応出来る大型モニター等を備えています。



## 排水ポンプ車

台風や線状降水帯などによる大雨で、住宅側にあふれた水を河川に戻すために使用します。人が持ち運べる重さのポンプを4基または8基搭載しており、最大30m<sup>3</sup>/分(4基)または最大60m<sup>3</sup>/分(8基)の排水能力を有しています。

## 応急組立橋

地震や洪水などの災害により既設の橋が壊れた場合、また緊急に橋を架ける必要性が生じた場合に架設する組立橋です。緊急車両や一般車両の交通路を確保するための、重要な役割を担います。

## 災害発生から 出動までの流れ





# 土砂災害

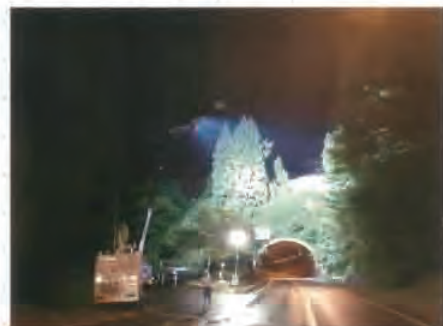
平成 25 年 10 月、伊豆大島元町地区では台風第 26 号による大雨で土石流が発生し、多くの死者・行方不明者を出す惨事となりました。国土交通省は大島町からの応援要請を受け、関東技術事務所（船橋防災センター）から対策本部車、照明車等の災害対策車両を派遣し、復旧活動を支援しました。



現地対策本部として使用されている対策本部車



自衛隊の夜間捜索を支援する照明車



令和 3 年 7 月 1 日前線降雨により、長野県長野市で発生した地すべりの現場に照明車を派遣しました。



全国から集まったオイルフェンス



搬出されるオイルフェンス

平成 9 年 7 月、神奈川県横浜市本牧沖の東京湾でタンカー「ダイヤモンドグレース号」が座礁し、1500 キロリットルの原油が流出しました。船橋防災センターは、資機材の集積中継基地として、全国の国土交通省の事務所から集められたオイルフェンスを東京都などの地方自治体へ貸し出しました。

オイルフェンス・石油類などが事故によって河川や湖沼および海などの水面上に漏洩・流失した場合、その拡散を防止、除去する目的で一時的に水域に設置する囲い（浮遊堤）

# 事故



# 台風

令和元年 10 月に発生した台風第 19 号および台風第 21 号による大雨等により、埼玉県の荒川流域や茨城県の那珂川流域等で浸水被害が発生しました。関東地方整備局では排水ポンプ車等を派遣し、浸水した地域の排水作業を実施しました。



## 排水ポンプ車の稼働状況



茨城県水戸市渡里町



茨城県水戸市下国井町



茨城県水戸市渡里町



茨城県水戸市藤井町



千葉県茂原市



埼玉県ふじみ野市



災害直後



応急組立橋架設後

令和 4 年 8 月 3 日の大雨に伴う一級河川小白川の増水により、橋梁流失の被害が発生した主要地方道長井飯豊線「大巻橋」について、山形県からの要請を踏まえ、関東技術事務所（船橋防災センター）から応急組立橋を貸与しました。

# 豪雨



# 日常の業務内容

## 訓練

職員および協定会社の災害対策要員は様々な訓練を行っています。



災害対策用機械操作訓練状況



応急組立橋架設訓練状況

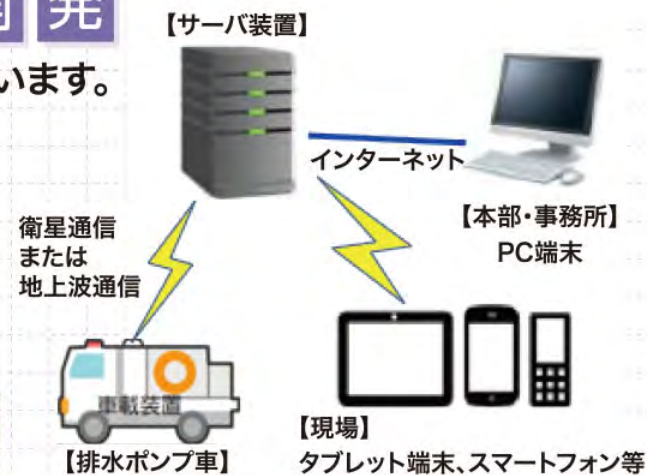
## 新技術の導入・開発

防災に関する新技術の導入・開発を行っています。



### 排水サポータの開発

排水ホースを段差部や狭隘部に設置すると折れ曲がることで排水能力が低下します。このため排水能力の負荷を減らすため、各種排水サポータを開発しています。



### 排水ポンプ車状態監視システム

大規模な浸水被害に対して、排水作業を行う複数の排水ポンプ車を遠方から安全に一括して監視が可能なシステムです。

稼働状況を遠隔監視することで余震での津波による二次災害リスクを減らし、安全で効率的な排水作業を継続して実施できます。

## 『関東地方整備局の災害対策用機械の活躍』

～東日本大震災～

東北地方整備局から排水ポンプ車等の災害対策用機械の応援要請を受け、宮城県の浸水地域の排水作業を行うため、災害対策用機械として排水ポンプ車8台と待機支援車1台、職員のべ284人、作業員のべ721人、69日間の派遣を行いました。

### ・排水状況



仙台空港周辺での排水作業(宮城県名取市)



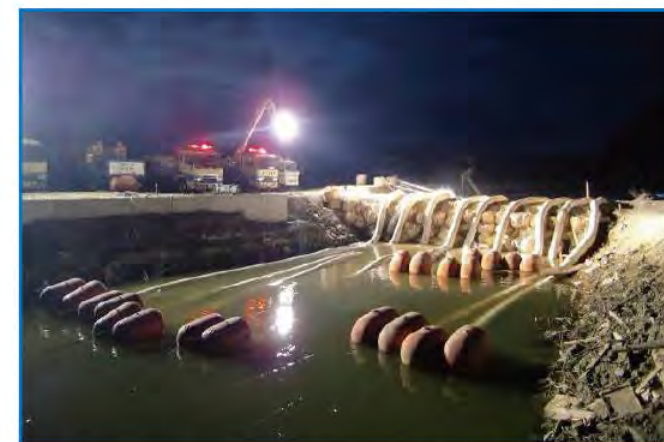
待機支援車による支援(宮城県石巻市)



東名地区での排水作業(宮城県東松島市)



左記排水作業後の行方不明者捜索(宮城県東松島市)



富士川での排水作業1日目(宮城県石巻市)



左記排水作業5日目(宮城県石巻市)

国土交通省 関東地方整備局

## 関東技術事務所

〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1 TEL.047-389-5121(代)

防災技術課 TEL. 047-389-5120

FAX. 047-389-5159



【交通】JR武蔵野線新八柱駅または新京成電鉄八柱駅下車  
新京成バス2番「牧の原団地行」牧の原小学校前下車徒歩2分

国土交通省 関東地方整備局

## 船橋防災センター

〒273-0002 千葉県船橋市東船橋5-2-1

TEL. 047-422-2101

FAX. 047-422-2603



【交通】JR総武線東船橋駅下車徒歩10分

■詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/index.htm>

関東技術

検索

2022.12